

介護認定調査 特記事項 記述補助様式

令和 8 年度

小金井市介護福祉課認定係

本資料の取扱いについて

1. 聞き取った内容に合わせて、必ず編集してください。

本資料は、特記事項を作成する際の“書き方の型”の例を示した補助様式です。そのまま転記するのではなく、調査時に聞き取った内容・確認した事実に合わせて、【 】内および語句・表現・頻度などを必ず編集してください。

本資料の“書き方の型”を Word 等に複写し貼り付けて使用する場合、入力後、【 】は消してください。

2. 補助様式であり、聞き取り内容が最優先です。

本資料は記述の方向性、“書き方の型”の例を示すものですが、特記事項はあくまでも対象者の状態を正確に介護認定審査会へ伝えるための重要な資料です。

そのため、実際に聞き取った内容・確認した事実を優先して記述してください。

3. 必要に応じて追記・加筆してください。

本資料の“書き方の型”だけでは状況を十分に説明できない場合があります。

聞き取った内容に基づき、手間・日々の変動などを追記して、より正確に伝える特記事項に仕上げてください。

1-1 麻痺等の有無 【有無】	ない 左上肢 右上肢 左下肢 右下肢 その他【四肢の欠損】	(1-1)両上下肢とも確認動作できた。
		(1-1)【部位】肢は【具体的な状況】。【部位】関節に可動域制限あり、可動域制限内での挙上保持はできるため麻痺は取らない。他確認動作できた。
		(1-1)指示が理解できないため確認動作行なえず、【誰】より【具体的な状況】と聞き取る。
		(1-1)【部位】の欠損あり。
1-2 拘縮の有無 (有無)	ない 肩関節 股関節 膝関節 その他【四肢の欠損】	(1-2)各関節に拘縮はない。
		(1-2)【部位】関節は【具体的な状況】。その他の関節には拘縮なし。
		(1-2)円背が強く、他動でも拘縮して腰椎を伸ばすことができない。「その他」を選択。
		(1-2)【部位】の欠損あり。各関節に拘縮はない。
1-3 寝返り (能力)	できる	(1-3)何にもつかまらずに寝返りできる
		(1-3)何もつかまらずに【右側のみ・左側のみ】寝返りできる。
		(1-3)【理由】のため仰向けに寝ることができないが、何にもつかまらずに側臥位から腹臥位に向きを変えることができる。
		(1-3)日頃寝返りはしないが、声をかければ何にもつかまらず寝返りできる。
	つかまればできる	(1-3)【どこ】につかまれば自力で寝返りできる。
		(1-3)【どこ（自分の体の一部）】を掴めば自力で寝返りできる。
	できない	(1-3)自力ではできず、日頃は【誰】が体位交換をしている。
		(1-3)【理由】のため【体位】しかとれず、寝返りできない。
		(1-3)【理由】のため、1度起き上がり、体の方向を変える。「できない」を選択。
1-4 起き上がり 【能力】	できる	(1-4)体を支える目的ではなく、習慣的に手や肘をつき起き上がる。
		(1-4)何もつかまらずに起き上がる。
		(1-4)常時ギャジアップした状態から、何にもつかまらずに起き上がれる。
	つかまればできる	(1-4)【どこ】につかまれば自力で起き上がれる。
		(1-4)【どこ】に手や肘をつき加重すれば起き上がれる。
		(1-4)常時ギャジアップした状態から、【どこ】につかまれば起き上がれる。

1-4 起き上がり 【能力】	できない	(1-4)途中まで自分で起きるが、最後に【誰】が起き上がらせている。
		(1-4)自分では起き上がれず、ギャッジアップを使用し起き上がる。
		(1-4)自分では起き上がれず、日頃は【誰】が起き上がらせている。
		(1-4)調査時は【どこ】につかまり何とか自分でできたが、日頃は【理由】のためできない状態のことが多い。
1-5 座位保持 【能力】	できる	(1-5)何もつかまらず寄りかからず 10 分程度座位保持できる。
		(1-5)車いすを使用中だが、背もたれを使わずに 10 分座位保持できる。
		(1-5)日頃は背もたれのある椅子に座っているが、食事の時など 10 分間程度は支えなく座位を保持できる。
	自分の手で支えればできる	(1-5)【どこ】につかまれば 10 分程度の座位保持ができる。
		(1-5)【どこ】に手をつきしっかりと加重していれば 10 分座位保持できる。
		(1-5)日頃は背もたれに寄りかかるが、10 分程度であれば【どこ】につかまり座位保持ができる。
	支えてもらえばできる	(1-5)背もたれがあれば 10 分座位保持ができる。
		(1-5)大腿部の裏側に手を差し入れれば 10 分座位保持できる。
		(1-5)数分であれば自分の手で支え座位保持ができるが、10 分程度となると背もたれが必要。
	できない	(1-5)【誰】が【どこ】を支えていないと 10 分の座位保持ができない。
		(1-5)【理由】により、10 分もしないうちに背もたれから体がずり落ちてしまう。
		(1-5)寝たきりであり、座位保持できず常時臥床している。
1-6 両足立位 【能力】	支えなしでできる	(1-6)つかまらずに安定して 10 秒程度立位保持ができる。
		(1-6)不安定だが 10 秒程度であればつかまらずに立位保持できる。それ以上は【どこ】につかまる。
	何か支えがあればできる	(1-6)【どこ】につかまれば 10 秒程度立位保持できる。
		(1-6)自分の両膝に手をつき、しっかりと加重すれば 10 秒程度立位保持できる。
	できない	(1-6)【理由】のため両足立位不可。常に介護者が支える必要がある。

1-6 両足立位 【能力】	できない	(1-6)【理由】のため、支えがあっても10秒は立位保持できない。
		(1-6)【理由】のため、全く立位保持できない。
		(1-6)両足欠損のため、立位不可。
1-7 歩行 【能力】	つかまらないでできる	(1-7)自宅内・外出時とも、何にもつかまらずに連続5m以上歩行できる。
		(1-7)自宅内は連続5m歩行できる。それ以上は【どこ】につかまる。
		(1-7)転倒防止のため、日頃【補助具名】を使っているが、連続5mであればつかまらずに歩行できる。
	何かにつかまればできる	(1-7)自宅内外とも、【補助具名】を使えば自力で連続5m歩行できる。
		(1-7)自宅内は家具や壁等につかまれば自力で連続5m歩行できる。外出時は杖を使用。
		(1-7)自宅内外とも、家具や壁等につかまれば自力で連続5m歩行できる。
	できない	(1-7)片方の腕を杖で、片方の腕を介護者が支えれば歩行できる。
		(1-7)【理由】のため、連続5mの歩行不可。【〇m】ごとに休むことが必要。
		(1-7)【理由】のため、自力では全く歩けない。日頃は【車いす・ストレッチャー】で移動。
		(1-7)寝たきりのため、歩行はできない。
1-8 立ち上がり 【能力】	つかまらないでできる	(1-8)軽く手をつく程度で立ちあがれる。
		(1-8)何にもつかまらずに立ち上がれる。
	何かにつかまればできる	(1-8)テーブル等の家具に手をつきしっかりと加重すれば立ち上がることができる。
		(1-8)【どこ】を支えにして自分で立ち上がる。
		(1-8)自分の両膝に手をついて、上肢に力を入れて立ち上がる。
		(1-8)1度では立ち上がることができないが、何度か繰り返せば【どこ】につかまって立ち上がることができる。
	できない	(1-8)【理由】のため、自力では立ち上がり不可。【誰】が支えて立ち上がる。

1-8 立ち上がり 【能力】	できない	(1-8)【理由】のため、自力では立ち上がり不可。【誰】が引き上げる。
		(1-8)寝たきりのため、立ち上がりはできない。
1-9 片足立位 【能力】	支えなしでできる	(1-9)何にもつかまらずに1秒程度片足立位できる
		(1-9)不安定だが1秒程度であれば何にもつかまらずに片足立位できる。それ以上は【どこ】につかまる。
	何か支えがあればできる	(1-9)【どこ】に【つかまれば・寄りかかれば】1秒程度片足立位できる。
		(1-9)調査時は転倒リスク高いと判断し試行せず。日頃、【どこ】につかまり段差昇降できると【誰】より聞き取る。
	できない	(1-9)【理由】のため片足立位できない。【誰】が常に支える必要がある。日頃、段差昇降時は【どのように】している。
		(1-9)寝たきりのため、まったく片足立位はできない。 (1-9)調査時は家具につかまり何とかできた。日頃は不安定でできないため、段差昇降時は【誰】が常に支えると【誰】より聞き取る。
1-10 洗身 【介助方法】	介助されていない	(1-10)【頻度】回/週、【シャワー浴・湯船につかる】。洗身は自分で行う。
		(1-10)洗しやすい自助具を使用して自分で洗身できる。
		(1-10)毎日入浴し、自分で洗身を行う。
	一部介助	(1-10)【頻度】回/週、【シャワー浴・湯船につかる】。【どこ】は自分で洗うが、【理由】のため、【どこ】は【誰】が洗っている。
		(1-10)【頻度】回/週、【シャワー浴・湯船につかる】。自分で全身を洗うが、【理由】のため、十分に洗えず【誰】が【どこ（体の一部）】のみを洗い直している。
		(1-10)【頻度】回/週、【シャワー浴・湯船につかる】。自分で全身を洗う。調査時、【汗疹・かゆみ・悪臭】あり、【どこ（体の一部）】を洗う介助が必要と判断し、適切な介助で「一部介助」を選択。
	全介助	(1-10)【頻度】回/週、【シャワー浴・機械浴】。【誰】が全身を洗う。
		(1-10)【頻度】回/週、【シャワー浴・湯船につかる】。自分で全身を洗う。調査時、【汗疹・かゆみ・悪臭】あり、全身を洗う介助が必要と判断し、適切な介助で「全介助」を選択。
		(1-10)【理由】のため、日常的に洗身・清拭とも行っていない。調査時、【汗疹・かゆみ・悪臭】あり、全身を洗う介助が必要と判断し、適切な介助で「全介助」を選択。

1-10 洗身 【介助方法】	行っていない	(1-10)【理由】のため、日常的に洗身・清拭とも行っていない。調査時は不適切な状況なし。
		(1-10)【理由】ため、【誰】が清拭のみ行っている。
1-11 つめ切り 【介助方法】	介助されていない	(1-11)手足とも自分で行う。
		(1-11)自助具を使用すれば手足とも自力で爪切りできる。
	一部介助	(1-11)【手・足】は自分で切れるが、【理由】のため、【手・足】は【誰】が切っている。
		(1-11)手足とも自分で切るが、【理由】のため、つめ切りの準備・片付けを【誰】が行う。
		(1-11)手足とも自力で行うが、【理由】のため、【手・足】は介助が必要と判断し、適切な介助で「一部介助」を選択。
	全介助	(1-11)【理由】のため、手足とも【誰】が切っている。
		(1-11)手足とも自分で切るが不十分なので【誰】が手足のすべての爪切りをやり直している。
1-12 視力 【能力】	普通（日常生活に支障がない）	(1-12)テレビや新聞・雑誌等の文字が見え、生活に支障はない。
		(1-12)眼鏡を使用し、生活に支障はない。
		(1-12)1m先の視力確認表の図が見え、生活に支障はない。
	約1m離れた視力確認表の図が見える	(1-12)1m先の視力確認表の図は見えるが、新聞・雑誌などの文字は見え難さあり、生活に支障が出ていると【誰】より聞き取る。
		(1-12)【理由】のため、質問に反応はないが、日頃1m程離れた【何】を目で追う様子が見られると【誰】より聞き取る。
	目の前に置いた視力確認表の図が見える	(1-12)【理由】のため、生活に支障が出ていると聞き取る。調査時、目の前の視力確認表が見えた。
		(1-12)【理由】のため、質問に反応はないが、目の前の【何】を目で追う様子が見られると【誰】より聞き取る。
	ほとんど見えない	(1-12)【理由】のため、生活に支障が出ていると聞き取る。調査時、目の前の視力確認表も見えない。
	見えているのか判断不能	(1-12)【理由】のため、【開眼しているが・閉眼して】質問に反応なく、見えているのか判断できない。
		(1-12)調査時に声掛けをすると開眼したが、焦点が合わず視力は確認できない。
1-13 聴力 【能力】	普通	(1-13)普通の声が聞き取れる。
		(1-13)補聴器を使用して、普通の声が聞き取れる。

1-13 聴力 【能力】	普通の声がやっと聞き 取れる	(1-13)普通の声では聞き返しがあり、ゆっくりはっきり話せば聞き取れる。
		(1-13)補聴器を使用して、少し大きめの声で話せば聞き取れる。
	かなり大きな声なら何 とか聞き取れる	(1-13)耳元でかなり大きめの声であればなんとか聞き取れる。
		(1-13)補聴器を使用し、耳元でかなり大きめの声であればなんとか聞き取れる。
	ほとんど聞こえない	(1-13)【理由】のため、かなり大きな声でも聞き取れない。
		(1-13)耳元で大声で話しても聞こえないため、日頃より筆談で伝えている。
2-1 移乗 【介助方法】	聞こえているのか判断 不能	(1-13)【理由】のため、質問に反応なく、聞こえているのか判断できない。
		(1-13)意思の疎通ができず寝たきりのため、確認できない。
	介助されていない	(2-1)歩行移動で日頃移乗の機会ないため想定判断。【理由】のため「介助されていない」を選択。
		(2-1)【つかまらず・～につかまって】【ベッド⇄車いす・車いす⇄便座】の移乗を自力で行う。
		(2-1)日中は【つかまらず・～につかまって】【ベッド⇄車いす・車いす⇄便座】の移乗を自力で行う。夜間は【理由】のため【誰】が【どのような介助】を行っている。頻度で判断。
	見守り等	(2-1)歩行移動で日頃移乗の機会ないため想定判断。【理由】のため【どのような介助】が必要と判断し「見守り等」を選択。
		(2-1)【ベッド⇄車いす・車いす⇄便座】の移乗を自力で行が、【理由】のため、【誰】がすぐそばで【見守り・確認・声かけ】をしている。
		(2-1)【ベッド⇄車いす・車いす⇄便座】の移乗を自力で行うが、【理由】のため、【誰】が動作にあわせて【車いす・椅子】をお尻の下に差し入れている。
	一部介助	(2-1)歩行移動で日頃移乗の機会ないため想定判断。【理由】のため【どのような介助】が必要と判断し「一部介助」を選択。
		(2-1)【理由】のため、【誰】が体を支えて【ベッド⇄車いす・車いす⇄便座】へ移乗している。
		(2-1)【理由】のため、【誰】が手を引いて【ベッド⇄車いす・車いす⇄便座】へ移乗している。

2-1 移乗 【介助方法】	全介助	(2-1)寝たきりで移乗機会ないため想定判断。【理由】のため【どのような介助】が必要と判断し「全介助」を選択。
		(2-1)【理由】のため、【誰】が体を抱えて【ベッド⇔車いす・車いす⇔便座】へ移乗している。
2-2 移動 【介助方法】	介助されていない	(2-2)自宅内外を何にもつかまらず自力で移動する
		(2-2)【何】を支えにして自力で見守り・介助なく移動する。
		(2-2)車いす自走し、見守り・介助はない。
	見守り等	(2-2)自力で移動するが、転倒防止のため、【誰】がすぐそばで見守りをしている。
		(2-2)自力で移動するが、認知症のため行く場所が分からず、【誰】がすぐそばで声掛けをしている。
		(2-2)自力で移動するが、転倒リスクがあるため、見守りが必要と判断。適切な介助で「見守り等」を選択。
	一部介助	(2-2)【理由】のため、【誰】が体幹を支える。
		(2-2)車いすを使用し自走するが、【段差を超える・曲がる】際は【誰】が押す。
		(2-2)認知症のため行く場所が分からず、移動の際は毎回【誰】が手引き歩行をしている。
	全介助	(2-2)【理由】のため、【誰】が常に【車いす・ストレッチャー】を押して移動する。
		(2-2)【理由】のため、【誰】が抱えて移動する。
		(2-2)寝たきりで移乗機会ないため想定判断。【車いすを押す介助・ストレッチャー移動】が必要と判断し「全介助」を選択。
2-3 えん下 【能力】	できる	(2-3)嚥下に問題はない。
		(2-3)【食事の形状】を摂取し、気を付けながら飲み込んでいる。
		(2-3)水分でおせることはあるが、【食事の形状】を自然に飲み込めている。
	見守り等	(2-3)飲み込みにくく毎食おせる。
		(2-3)誤嚥リスクが高く誤嚥防止のため、【誰】が必ず見守りを行っている。
		(2-3)自然に飲み込みにくいため、必ず【誰】が近位で見守る。
		(2-3)口の中にため込み、飲み込まないため、【誰】が声かけをする。

2-3 えん下 【能力】	できない	(2-3)嚥下困難で【経管栄養・中心静脈栄養・胃ろう】から栄養を注入している。
		(2-3)嚥下困難で、【経管栄養・中心静脈栄養・胃ろう】から栄養を注入している。リハビリ時のみ数口経口摂取をしている。
2-4 食事摂取 【介助方法】	介助されていない	(2-4)自己摂取している。
		(2-4)手の震えがあり、スプーンを使って自己摂取している。食べこぼしが多いため、家族が食後に掃除を行っている。
	見守り等	(2-4)自己摂取するが、【理由】のため、食事中は【誰】がすぐそばで【見守り・確認・指示・声掛け・皿の置き換え】をしている。
		(2-4)自己摂取するが、【理由】のため、【見守り・確認・指示・声掛け・皿の置き換え】が必要と判断。適切な介助で「見守り等」を選択。
	一部介助	(2-4)【量】割は自己摂取するが、【理由】のため、残りは【誰】が食べさせている。
		(2-4)自己摂取するが、【理由】のため、【誰】が【食卓で小さく切る・ほぐす・皮をむく・魚の骨をとる・スプーンに乗せる】介助をしている。
	全介助	(2-4)【理由】のため自己摂取できない。【誰】が口まで運んでいる。
		(2-4)経口摂取なく、【誰】が【経管栄養・中心静脈栄養・胃ろう】の注入介助をしている。
		(2-4)【理由】のため禁食。点滴からの補液のみで栄養補給している。
2-5 排尿 【介助方法】	介助されていない	(2-5)【下着の種類】着用。排尿は日中【頻度】回/日、夜間【頻度】回/日。トイレにて一連の行為を自力で行う。
		(2-5)【下着の種類】着用。排尿は日中【頻度】回/日、夜間【頻度】回/日。トイレにて一連の行為を自力で行うが、【頻度】回/週、尿【漏れ・失禁】あり。【オムツ交換・リハパン交換・パット交換】は【誰】が行う。頻度より判断。
		(2-5)【ポータブルトイレ・尿器・カテーテル】を使用し、準備から後始末までの一連の行為を自力で行う。
		(2-5)透析実施中で、排尿は全くない。「介助されていない」を選択。
	見守り等	(2-5)【下着の種類】着用。排尿は日中【頻度】回/日、夜間【頻度】回/日。認知症のため【(トイレへ誘導するための)確認・指示・声かけ】を【誰】が行う。一連の行為は自力で行う。

2-5 排尿 【介助方法】	見守り等	(2-5)【下着の種類】着用。排尿は日中【頻度】回/日、夜間【頻度】回/日。認知症のため排尿の手順がわからず、【誰】が常時付き添い【見守り・確認・指示・声かけ】を行う。一連の行為は自力で行う。
		(2-5)【下着の種類】着用。排尿は日中【頻度】回/日、夜間【頻度】回/日。【座位・立位・立ち上がり不安定】のため【誰】が見守りをしながら、ズボンの上げ下ろしや、便器からの立ち座りを確認している。
	一部介助	(2-5)【下着の種類】着用。排尿は日中【頻度】回/日、夜間【頻度】回/日。【ズボンの上げ下げ・清拭・水洗・排尿後の掃除・オムツ交換・リハパン交換・パット交換】を自力で行う。【ズボンの上げ下げ・清拭・水洗・排尿後の掃除・オムツ交換・リハパン交換・パット交換】は【誰】が行う。
		(2-5)【ポータブルトイレ・尿器・カテーテル】を使用。排尿は日中【頻度】回/日、夜間【頻度】回/日。排尿後の後始末は【誰】が行う。
	全介助	(2-5)【下着の種類】着用。排尿は日中【頻度】回/日、夜間【頻度】回/日。トイレにて一連の行為を【誰】が行う。
		(2-5)紙オムツ着用。尿意なく、【誰】が【頻度】回/日オムツ交換を行う。
		(2-5)尿カテーテル挿入中。尿の処理は【誰】が行う。
2-6 排便 【介助方法】	介助されていない	(2-6)排便は日中【頻度】回/日、夜間【頻度】回/日。トイレにて一連の行為を自力で行う。
		(2-6)排便は日中【頻度】回/日、夜間【頻度】回/日。トイレにて一連の行為を自力で行うが、【頻度】回/週、便【漏れ・失禁】あり。【オムツ交換・リハパン交換】は【誰】が行う。頻度より判断。
		(2-6)ストーマを造設しており、交換・準備・後始末を自力で行う。
	見守り等	(2-6)排便は日中【頻度】回/日、夜間【頻度】回/日。認知症のため【(トイレへ誘導するための) 確認・指示・声かけ】を【誰】が行う。一連の行為は自力で行う。
		(2-6)排便は日中【頻度】回/日、夜間【頻度】回/日。認知症のため排便の手順がわからず、【誰】が常時付き添い【見守り・確認・指示・声かけ】を行う。一連の行為は自力で行う。
		(2-6)排便は日中【頻度】回/日、夜間【頻度】回/日。【座位・立位・立ち上がり不安定】のため【誰】が見守りをしながら、ズボンの上げ下ろしや、便器からの立ち座りを確認している。

2-6 排便 【介助方法】	一部介助	(2-6)排便は日中【頻度】回/日、夜間【頻度】回/日。【ズボンの上げ下げ・清拭・水洗・排便後の掃除・オムツ交換・リハパン交換】を自力で行う。【ズボンの上げ下げ・清拭・水洗・排便後の掃除・オムツ交換・リハパン交換】は【誰】が行う。
		(2-6)ポータブルトイレを使用。排便は日中【頻度】回/日、夜間【頻度】回/日。排便後の後始末は【誰】が行う。
		(2-6)ストーマを造設しており、自分で【交換・準備・後始末】を行い、【誰】が【交換・準備・後始末】を行う。
	全介助	(2-6)排便は日中【頻度】回/日、夜間【頻度】回/日。トイレにて一連の行為を【誰】が行う。
		(2-6)紙オムツ着用。便意なく、【誰】が【頻度】回/日オムツ交換を行う。
		(2-6)ストーマを造設しており、交換・準備・後始末を【誰】が行う。
2-7 口腔清潔 【介助方法】	介助されていない	(2-7)【自歯のみ・部分義歯・全義歯】。自分で一連の行為を行う。
		(2-7)【自歯のみ・部分義歯・全義歯】。【誰】が声かけし促せば、自分で一連の行為を行う。
		(2-7)自歯も義歯もなく、口をゆすいでいる。不衛生さはない。
	一部介助	(2-7)【自歯のみ・部分義歯・全義歯・自歯も義歯もない】。【誰】が用具を準備すれば、自力で行える。
		(2-7)【自歯のみ・部分義歯・全義歯・自歯も義歯もない】。自分で一連の行為を行うが、磨き残しがあり不十分なため、【誰】が部分的にやり直す。
		(2-7)【自歯のみ・部分義歯・全義歯・自歯も義歯もない】。【理由】のため行っていない。物品を準備すれば、自力で行えるため、適切な介助で「一部介助」を選択。
	全介助	(2-7)【自歯のみ・部分義歯・全義歯・自歯も義歯もない】。一連の行為を【誰】が行う。
		(2-7)【自歯のみ・部分義歯・全義歯・自歯も義歯もない】。一連の行為を【誰】が行う。水を吐き出すのみ本人が行う。
		(2-7)【自歯のみ・部分義歯・全義歯・自歯も義歯もない】。自分で一連の行為を行うが、磨き残しがあり不十分なため、【誰】が全てやり直す。
2-8 洗顔 【介助方法】	介助されていない	(2-8)毎朝自分で行う
		(2-8)【誰】が声かけし促せば、自分で行える。
		(2-8)入浴時に自分で洗顔も行う。

2-8 洗顔 【介助方法】	一部介助	(2-8)【誰】が蒸しタオルを用意すれば、自分で顔を拭く。
		(2-8)自力で【洗う・拭く】が不十分。不十分なところを【誰】が【見守り・声掛け・介助・洗い直し】をする。
	全介助	(2-8)【理由】のため、【誰】が【洗顔を行う・顔を拭く】。
		(2-8)自分で【洗う・拭く】が、【誰】がすべて【洗い・拭き】直している。
		(2-8)本人の能力はあると思われるが、【理由】のため、【誰】が蒸しタオルで拭いている。
2-9 整髪 【介助方法】	介助されていない	(2-9)自分で【櫛・手櫛】で整髪を行う。
		(2-9)【誰】が声かけし促せば、自分で行える。
		(2-9)整髪行為を行っていないため、代替行為で判断。タオルで頭を拭く動作は自力で行っている。
	一部介助	(2-9)【誰】が、櫛を準備すれば自力で行える。
		(2-9)自分で行うが不十分。不十分なところを【誰】が【見守り・声掛け・介助】を行う。
		(2-9)前は自分で整髪しているが、腕を後ろに回しづらいため、後ろはいつも乱れている。介助が必要と考え、適切な介助で「一部介助」を選択。
	全介助	(2-9)【誰】がすべて整髪している。
		(2-9)頭髮がないため整髪行為なし。代替行為で判断。頭を拭くのは【誰】が行っている。
2-10 上衣の着脱 【介助方法】	介助されていない	(2-10)【いつ】に更衣を行う。自分で着脱する。
		(2-10)【いつ】に更衣を行う。自分で着脱できる衣服のみを着用しているため、自力で着脱できている。
		(2-10)【いつ】に更衣を行う。事前に衣服の【選択・準備・手渡し】をすると、後は自分で着脱している。
		(2-10)【いつ】に更衣を行う。自分で着脱するが、ボタン等の衣服を着る際は【誰】が介助するときもある。頻度で判断。
	見守り等	(2-10)【いつ】に更衣を行う。【理由】のため、着脱時に常時【誰】が見守り・声掛けをしている。
		(2-10)【いつ】に更衣を行う。【理由】のため、【誰】が1枚ずつ声かけしながら衣服を手渡ししている。

2-10 上衣の着脱 【介助方法】	見守り等	(2-10)週3回デイがある日の朝のみ着替える。独居のため自分で着脱するが、毎回ボタンの掛け違いや裏表逆などが見られ、デイの職員が声かけしているとケアマネより聞き取る。見守りや確認が必要と判断し、適切な介助で「見守り等」を選択。
	一部介助	(2-10)【いつ】に更衣を行う。【誰】が行っている。【どのような】協力動作あり。
		(2-10)【いつ】に更衣を行う。【誰】が上衣を構えると、【首・袖】通しは自力で行える。
	全介助	(2-10)【いつ】に更衣を行う。【誰】が行っている。協力動作はない。
		(2-10)週2回の清拭時のみ更衣。わずかに腕を動かすが、【首・袖】通し等の協力動作が行えないため、【誰】が着脱全体の介助をしている。
2-11 ズボン等の着脱 【介助方法】	介助されていない	(2-11)【いつ】に更衣を行う。自分で着脱する。
		(2-11)【いつ】に更衣を行う。自分で着脱できる衣服のみを着用しているため、自力で着脱できている。
		(2-11)【いつ】に更衣を行う。事前に衣服の【選択・準備・手渡し】をすると、後は自分で着脱している。
	見守り等	(2-11)【いつ】に更衣を行う。【理由】のため、着脱時に常時【誰】が見守り・声掛けをしている。
		(2-11)【いつ】に更衣を行う。【理由】のため、【誰】が1枚ずつ声かけしながら衣服を手渡ししている。
	一部介助	(2-11)【いつ】に更衣を行う。【誰】が行っている。【どのような】協力動作あり。
		(2-11)【いつ】に更衣を行う。【誰】が衣服を構えると、足通しは自力で行える。
	全介助	(2-11)【いつ】に更衣を行う。【誰】が行っている。協力動作はない。
		(2-11)週2回の清拭時のみ更衣。わずかに足を動かすが、足通し等の協力動作が行えないため、【誰】が着脱全体の介助をしている。
2-12 外出頻度 【有無】	週1回以上	(2-12)【頻度】回/週、デイサービスに送迎で外出する。
		(2-12)【頻度】回/週、【どこ】に家族の送迎で外出する。
		(2-12)【頻度】回/週、【どこ】に自分で【何】を使い、外出する。
	月1回以上	(2-12)【頻度】回/月、デイサービスに送迎で外出する。
		(2-12)【頻度】回/月、【どこ】に家族の送迎で外出する。

2-12 外出頻度 【有無】	月1回以上	(2-12)【頻度】回/月、【どこ】に自分で【何】を使い、外出する。
	月1回未満	(2-12)直近1か月の外出はなし。
		(2-12)【入院・入所】後、外出していない。
3-1 意思伝達 【能力】	調査対象者が意思を他者に伝達できる	(3-1)常時、誰にでも意思の伝達ができる。
		(3-1)内容の整合性は合わないが、自分の意思を伝達することはできる。
		(3-1)発語はできないが、【身振り・筆談】で意思の伝達ができる。
	ときどき伝達できる	(3-1)【どのような状況・人・内容】であれば伝達できるが、【どのような状況・人・内容】だと伝達できない時がある。
		(3-1)内容や状況によってできる時とできない時がある。
	ほとんど伝達できない	(3-1)ある事柄や特定の人には、まれに伝達できる。
		(3-1)痛い・腹が減った等の限定されたことのみ伝達できる。
		(3-1)『はい』『いいえ』で答えられるような限定された内容しか意思表示できない。
	できない	(3-1)【理由】のため、どのような状況でも全く伝達ができない。
		(3-1)呼びかけに対して少し反応がある程度で言葉にはならない。
3-2 毎日の日課理解 【能力】	できる	(3-2)起床、食事等大まかな内容を答えることができた。
		(3-2)デイサービス利用の曜日はわからなかったが、日常のおおまかな日課は理解している。
		(3-2)調査時上手く回答できなかったが、日頃はおおまかな日課を理解していると【誰】から聞き取る。
	できない	(3-2)日課の理解ができず、【誰】の声掛けて生活している。
		(3-2)調査内容の聞き取りに対して、全く関係のない内容の返答しかなかった。
		(3-2)調査時はなんとか回答できたが、日頃は理解できていないことが多いと【誰】から聞き取る。
3-3 生年月日や年齢をいう 【能力】	できる	(3-3)生年月日・年齢を正答。
		(3-3)生年月日のみ正答。年齢を【回答内容】と誤答。
		(3-3)年齢のみ正答。生年月日を【回答内容】と誤答。
		(3-3)調査時は生年月日・年齢とも誤答。日頃は理解できていることが多いと【誰】より聞き取る。
	できない	(3-3)調査時は生年月日・年齢とも正答。日頃は理解できていないことが多いと【誰】より聞き取る。

3-3 生年月日や年齢をいう 【能力】	できない	(3-3)調査時・日頃とも生年月日・年齢を理解できていない。
		(3-3)自分からは話すことはなく、呼びかけに対して少し反応がある程度で言葉にはならない。
3-4 短期記憶 【能力】	できる	(3-4)調査時直前の行動を【回答内容】と答え正答。日頃も短期記憶ができています。
		(3-4)調査時直前の行動を【回答内容】と答えたが独居のため確認できず、3品提示を実施、正答。
		(3-4)調査時、直前の行動を答えられない。日頃は覚えていることが多いと【誰】より聞き取る。
	できない	(3-4)調査時、直前の行動を答えられない。日頃も覚えていないと【誰】より聞き取る。
		(3-4)調査直前の行動、3品提示ともに誤答。日頃も覚えていないと【誰】より聞き取る。
3-5 自分の名前 【能力】	できる	(3-5)名前を正答。
		(3-5)【姓・名】のみ正答。
		(3-5)旧姓を答える。
		(3-5)失語症で発語できないが、名前を呼ぶと反応することから理解できていると判断した。
	できない	(3-5)姓名とも答えられない。
3-6 今の季節を理解 【能力】	できる	(3-6)【回答内容】と正答。
		(3-6)日付は答えられないが、季節は正答。
		(3-6)【回答内容】と誤答。日頃は理解できていると【誰】より聞き取り。
	できない	(3-6)【回答内容】と誤答。日頃も理解できていないと【誰】より聞き取る。
		(3-6)【回答内容】と誤答。日頃季節を問うことがないと【誰】より聞き取る。調査時の様子で判断。
3-7 場所の理解 【能力】	できる	(3-7)【自宅・病院・施設】と正答。
		(3-7)【施設名・病院名】は答えられないが、【施設・病院】にいることは理解している。
	できない	(3-7)【回答内容】と誤答。日頃も理解できていないと【誰】より聞き取る。

3-8 徘徊 【有無】	ない	(3-8)徘徊することはない。
		(3-8)以前は徘徊することがあったが、直近1か月ではない。
		(3-8)【自宅にいる際・入院中・入所中】は徘徊があったが、【退院・退所・入院・入所】後はない。
		(3-8)以前は徘徊することがあったが、現在は施錠、センサーを行うことで未然に防いでいる。
	ときどきある	(3-8)目的なく【歩き回る・動き回る】ことが直近1か月に【頻度】回ある。
	ある	(3-8)目的なく【歩き回る・動き回る】ことが週【頻度】回ある。
3-9 外出し戻れない 【有無】	ない	(3-9)外出し戻れないことはない。
		(3-9)自力で移動できていた際は、一人で外出して戻ってこれないことがあったが、寝たきりの生活になってからはない。
		(3-9)以前は一人で外出して戻ってこれないことがあったが、直近1か月ではない。
		(3-9)以前は外出して戻れないことがあったが、現在は施錠、センサーを行うことで未然に防いでいる。
	ときどきある	(3-9)一人で外出して戻ってこれないことが直近1か月に【頻度】回あり。
		(3-9)月【頻度】回、家に帰れなくなることがある。家族が探して連れ戻したり、警察に保護されたこともある。
	ある	(3-9)一人で外出して戻ってこれないことが直近1か月の間に、週【頻度】回以上あり。
		(3-9)居室からトイレまで出た後、居室まで戻ってこれず職員が対応することが週【頻度】回以上あり。
4-1 被害的 【有無】	ない	(4-1)『〇〇がなくなった』と言うが、被害的な様子ではないので特記のみ。
		(4-1)以前は被害的になることがあったが、現在では病状が悪化し会話をすることがなくなった。
	ときどきある	(4-1)月【頻度】回、【具体的なエピソード】と言うことがある。【誰が】【どのような対応】をしている。
		(4-1)月【頻度】回、お金や大事な物の場所を忘れ、「なくなった、盗まれた」と言うことがあり。家族はその都度一緒に探している。
	ある	(4-1)週【頻度】回、【具体的なエピソード】と言うことがある。【誰が】【どのような対応】をしている

4-1 被害的 【有無】	ある	(4-1)週【頻度】回、お金や大事な物の場所を忘れ、「なくなった、盗まれた」と言うことがあり。家族はその都度一緒に探している。
4-2 作話 【有無】	ない	(4-2)言葉を繋げて話すことができないため、作話に該当することはない。
	ときどきある	(4-2)月【頻度】回、【具体的なエピソード】と事実と異なる話をする。【誰が】【どのような対応】をしている。
		(4-2)月【頻度】回、実際には行っていないが、【具体的なエピソード】を自分で行っていると話す。
		(4-2)月【頻度】回、自分の失敗を認めることなく、「あの人のせいで失敗した」と他人のせいにすることがある。都度家族は傾聴している。
	ある	(4-2)週【頻度】回、【具体的なエピソード】と事実と異なる話をする。【誰が】【どのような対応】をしている。
		(4-2)週【頻度】回、実際には行っていないが、【具体的なエピソード】を自分で行っていると話す。
		(4-2)週【頻度】回、自分の失敗を認めることなく、「あの人のせいで失敗した」と他人のせいにすることがある。都度家族は傾聴している。
4-3 感情不安定 【有無】	ない	(4-3)間違いを指摘されたり、思い通りにならないと【怒り出す・泣き出す】ことがあるが、相応の理由があり場面からみて不適当とまでは言えないので「ない」を選択。
	ときどきある	(4-3)月【頻度】回、理由もなく【怒り出す・泣き出す・笑い出す】ことがある。【誰が】【どのような対応】をしている。
		(4-3)月【頻度】回、うつ症状があり『死にたい』と訴えることがある。その都度、家族は落ち着くまで話を傾聴している。
	ある	(4-3)週【頻度】回、理由もなく【怒り出す・泣き出す・笑い出す】ことがある。【誰が】【どのような対応】をしている。
		(4-3)週【頻度】回、うつ症状があり『死にたい』と訴えることがある。その都度、家族は落ち着くまで話を傾聴している。
4-4 昼夜逆転 【有無】	ない	(4-4)夜間何度も目覚めることがあるが、日中の生活に支障はないため、特記のみ。
		(4-4)トイレに行くため夜間何度も起きることがある。特記のみ
	ときどきある	(4-4)月【頻度】回、【具体的な状況】がある。そのため疲労や眠気があり日中に活動できない。【誰が】【どのような対応】をしている。

4-4 昼夜逆転 【有無】	ある	(4-4)週【頻度】回、【具体的な状況】がある。そのため疲労や眠気があり日中に活動できない。【誰】が【どのような対応】をしている。
4-5 同じ話 【有無】	ない	(4-5)同じ話をすることがあるが、短時間に何度もするわけではないので「ない」を選択。
	ときどきある	(4-5)月【頻度】回、【具体的な状況】がある。【誰】が【どのような対応】をしている。
		(4-5)月【頻度】回、昔の話を日に何度も繰り返すことがある。その都度家族が傾聴している。
	ある	(4-5)週【頻度】回、【具体的な状況】がある。【誰】が【どのような対応】をしている。
		(4-5)週【頻度】回、昔の話を日に何度も繰り返すことがある。その都度家族が傾聴している。
4-6 大声を出す 【有無】	ない	(4-6)難聴の為、人を呼ぶときは大声になるが、習慣的なものであるため「ない」を選択。
	ときどきある	(4-6)月【頻度】回、【具体的な状況】がある。【誰】が【どのような対応】をしている。
		(4-6)月【頻度】回、理由もなく突然大声で怒鳴ることがある。近所から苦情が入るため、家族は精神的な負担となっている。
	ある	(4-6)週【頻度】回、【具体的な状況】がある。【誰】が【どのような対応】をしている。
		(4-6)週【頻度】回、理由もなく突然大声で怒鳴ることがある。近所から苦情が入るため、家族は精神的な負担となっている。
4-7 介護抵抗 【有無】	ない	(4-7)家族や職員の助言や指示には従わないことが多いが、介護に対する抵抗とまでは言えないため「ない」を選択。
	ときどきある	(4-7)月【頻度】回、【具体的な状況】がある。【誰】が【どのような対応】をしている。
		(4-7)月【頻度】回、入浴の洗身やオムツ交換の際に介助者の手をたたいたり、払いのけたりすることがある。都度なだめたり、時間をおいて対応するなどの手間がかかっている。
	ある	(4-7)週【頻度】回、【具体的な状況】がある。【誰】が【どのような対応】をしている。
		(4-7)週【頻度】回、入浴の洗身やオムツ交換の際に介助者の手をたたいたり、払いのけたりすることがある。都度なだめたり、時間をおいて対応するなどの手間がかかっている。

4-8 落ち着きなし 【有無】	ない	(4-8)週/月【頻度】回、「家に帰りたい」と話すが、歩き回ったり 落ち着きがないということはないので「ない」を選択。
	ときどきある	(4-8)月【頻度】回、【具体的な状況】がある。【誰】が【どのよう な対応】をしている。
		(4-8)月【頻度】回、「自宅に帰る」と言って荷物をまとめ、部屋か ら出て行こうとすることがある。その都度職員が傾聴し、なだめて いる。
	ある	(4-8)週【頻度】回、【具体的な状況】がある。【誰】が【どのよう な対応】をしている。
		(4-8)週【頻度】回、「自宅に帰る」と言って荷物をまとめ、部屋か ら出て行こうとすることがある。その都度職員が傾聴し、なだめて いる。
4-9 1人で出たが る 【有無】	ない	(4-9)以前は一人で外に出ていこうとすることが頻繁にあったが、 現在では【理由】のため、一人で外出することはできない。
		(4-9)以前は外に出ていこうとすることがあったが、現在は施錠や センサー等の対策をとることで未然に防いでいる。
	ときどきある	(4-9)月【頻度】回、【具体的な状況】がある。【誰】が【どのよう な対応】をしている。
		(4-9)月【頻度】回、「会社に行く」と言って一人で外出しようとす るため、部屋に戻るよう職員が促す。
	ある	(4-9)週【頻度】回、【具体的な状況】がある。【誰】が【どのよう な対応】をしている。
		(4-9)週【頻度】回、「会社に行く」と言って一人で外出しようとす るため、部屋に戻るよう職員が促す。
4-10 収集癖 【有無】	ない	(4-10)物を捨てられず、不要な物であふれているが、習慣的なも ので集めてくるわけではないため「ない」を選択。
	ときどきある	(4-10)月【頻度】回、【具体的な状況】がある。【誰】が【どのよう な対応】をしている。
		(4-10)月【頻度】回、施設の備品（ティッシュ・タオル等）を自分 の部屋に持って来てタンスにしまい込むことがある。部屋の清掃時 に、職員が回収する。
	ある	(4-10)週【頻度】回、【具体的な状況】がある。【誰】が【どのよう な対応】をしている。
		(4-10)週【頻度】回、施設の備品（ティッシュ・タオル等）を自分 の部屋に持って来てタンスにしまい込むことがある。部屋の清掃時 に、職員が回収する。

4-11 ものを壊す 【有無】	ない	(4-11)以前は部屋のものを投げたり破ったりすることがあったが、部屋に物を置かないようにしたため今はない。
	ときどきある	(4-11)月【頻度】回、【具体的な状況】がある。【誰】が【どのような対応】をしている。
		(4-11)月【頻度】回、【物を壊す・破る・投げる・たたく】ことがある。家族が毎回片づける手間となっている。
	ある	(4-11)週【頻度】回、【具体的な状況】がある。【誰】が【どのような対応】をしている。
		(4-11)週【頻度】回、【物を壊す・破る・投げる・たたく】ことがある。家族が毎回片づける手間となっている。
4-12 ひどい物忘れ 【有無】	ない	(4-12)年相応の物忘れはあるが、周りに対応しているわけではないので「ない」を選択。
		(4-12)物を無くしたりすることがあるが、自分で探し見つけているので「ない」を選択。
	ときどきある	(4-12)月【頻度】回、【具体的な状況】がある。【誰】が【どのような対応】をしている。
		(4-12)月【頻度】回、物を置いた場所を忘れるため、家族が一緒に探す。
		(4-12)月【頻度】回、聞いたことを忘れ、何度も聞いてくるため、【誰】がその都度説明している。
		(4-12)月【頻度】回、ガスをつけっぱなしにし、鍋を焦がすことがある。【誰】が【どのような対応】をしている。
	ある	(4-12)週【頻度】回、【具体的な状況】がある。【誰】が【どのような対応】をしている。
		(4-12)週【頻度】回、物を置いた場所を忘れるため、家族が一緒に探す。
		(4-12)週【頻度】回、聞いたことを忘れ、何度も聞いてくるため、【誰】がその都度説明している。
		(4-12)週【頻度】回、ガスをつけっぱなしにし、鍋を焦がすことがある。【誰】が【どのような対応】をしている。
4-13 独語・ 独り笑い 【有無】	ない	(4-13)時々独り言を言っているが習慣的なものなので「ない」を選択。
	ときどきある	(4-13)月【頻度】回、【具体的な状況】がある。【誰】が【どのような対応】をしている。
		(4-13)月【頻度】回、壁に向かって一人で話しかけていることがある。家族は特に対応していない。

4-13 独語・ 独り笑い 【有無】	ある	(4-13)週【頻度】回、【具体的な状況】がある。【誰】が【どのような対応】をしている。
		(4-13)週【頻度】回、壁に向かって一人で話しかけていることがある。家族は特に対応していない。
4-14 自分勝手 【有無】	ない	(4-14)以前は自分勝手に外出したり、その場から離れることがあったが、現在は【理由】のため自分勝手な行動をとることはない。
	ときどきある	(4-14)月【頻度】回、【具体的な状況】がある。【誰】が【どのような対応】をしている。
		(4-14)月【頻度】回、転倒の危険性があり、移動時必ず職員を呼ぶよう指示しているが、一人で立ち上がり移動しようとしていることがある。都度職員が対応している。
	ある	(4-14)週【頻度】回、【具体的な状況】がある。【誰】が【どのような対応】をしている。
		(4-14)週【頻度】回、転倒の危険性があり、移動時必ず職員を呼ぶよう指示しているが、一人で立ち上がり移動しようとしていることがある。都度職員が対応している。
4-15 話が まとまらない 【有無】	ない	(4-15)一方的に話すが性格的なもので『話がまとまらない』わけではない。調査の質問には的確に答えることが出来た。
	ときどきある	(4-15)月【頻度】回、【具体的な状況】がある。【誰】が【どのような対応】をしている。
		(4-15)月【頻度】回、会話の途中で、話題がコロコロと変わり話がまとまらなくなることがある。
		(4-15)月【頻度】回、一方的に話し続けるため、話題を修正しようと質問しても、全く違う内容を一方的に話し続ける。家族は話を戻すのに手間がかかる。
	ある	(4-15)週【頻度】回、【具体的な状況】がある。【誰】が【どのような対応】をしている。
		(4-15)週【頻度】回、会話の途中で、話題がコロコロと変わり話がまとまらなくなることがある。
		(4-15)週【頻度】回、一方的に話し続けるため、話題を修正しようと質問しても、全く違う内容を一方的に話し続ける。家族は話を戻すのに手間がかかる。

5-1 薬の内服 【介助方法】	介助されていない	(5-1)自己管理で飲み忘れなし。
		(5-1)あらかじめ薬局で分包されており、自己管理で飲み忘れなし。
		(5-1)内服なし。処方された場合を想定。自己管理・内服できると【誰】より聞き取る。
	一部介助	(5-1)【理由】のため、【誰】が【水・薬の準備・飲む際の見守り・飲む量の指示】をしている。
		(5-1)週/月【頻度】回【飲み忘れ・落薬】があるため、【(どのような)介助】が必要と判断し、適切な介助で「一部介助」を選択。
		(5-1)内服なし。処方された場合を想定。【誰】が【水・薬の準備・飲む際の見守り・飲む量の指示】をする必要があると判断。
5-2 金銭管理 【介助方法】	介助されていない	(5-1)【誰】が水・薬を準備し本人の口に入れている。
		(5-1)内服なし。処方された場合を想定。【誰】が水・薬を準備し本人の口に入れる必要があると判断。
	一部介助	(5-2)支出入の把握・管理を全て自分でやっている。
		(5-2)支出入の把握・管理は自分でしているが、金融機関からのお金の出し入れは家族に依頼している。
		(5-2)手元に現金等を所持していないが、年金、預貯金、生活保護等は自分で管理している。
	全介助	(5-2)小遣い程度の少額のみ管理できる。他は【誰】が介助。
		(5-2)本人がすべて管理するが、計算ができず使いすぎてしまうため、【誰】が確認している。
5-3 日常の 意思決定 【能力】	できる	(5-2)【誰】がすべて管理。
		(5-2)自分で小銭程度を所持しているが、管理はできない。【誰】が全て管理している。
	特別な場合を除いてできる	(5-2)入院前は自分で管理できていたが、入院中は家族がお金の管理をしている。本人は支出入も把握していない。
		(5-3)常に自分で意思決定できる。
		(5-3)特別なことは周囲に自ら相談し、最終判断は自分で行う。
	特別な場合を除いてできる	(5-3)日常的な意思決定は自分で行うが、ケアプランや医療方針等は【誰】の支援が必要。
		(5-3)見たいテレビ番組やその日の献立、着る服の選択等は自分で行うが、冠婚葬祭式事、町内会行事等への参加の決定は【誰】の支援が必要。

5-3 日常の 意思決定 【能力】	日常的に困難	(5-3)日常的なことでもほとんど意思決定できないが、2択であれば選択できる。
		(5-3)日常的なことでもほとんど意思決定できないが、定時のトイレ誘導に「行かない」と言うことができるため、「日常的に困難」を選択。
	できない	(5-3)自力では全く意思決定できない。周囲が全て決定している。
5-4 集団不適応 【有無】	ない	(5-4)拒否などもなく、集まりにも参加している。
		(5-4)集団に参加する機会がない。
	ときどきある	(5-4)【どこ】で、【不適応行動】をするため、【誰】が【対応】することが月【頻度】回ある。
	ある	(5-4)【どこ】で、【不適応行動】をするため、【誰】が【対応】することが週【頻度】回ある。
5-5 買い物 【介助方法】	介助されていない	(5-5)全て自分で行う。
		(5-5)本人が【生協・通販・宅配】で注文し、自宅へ届けてもらっている。
		(5-5)重いものは【誰】に買い物を頼むが、主な食材や日用品の買い物は自分で行っている。
	見守り等	(5-5)自分で品物を選び取ることはできるが、計算ができず毎回お札で支払おうとするため、家族と一緒に付き添い指示する必要がある。
		(5-5)自分で買い物に行くが、 unnecessaryなものまで買う。本来であれば、指示・見守りが必要と判断し、適切な介助で「見守り等」を選択。
	一部介助	(5-5)食材や日用品などの必要なものを【誰】に依頼し買ってきてもらう。
		(5-5)自分で【商品を選ぶ・商品を取る・支払う】ことをし、【誰】が、【商品を選ぶ・商品を取る・支払う】ことをしている。
		(5-5)自分で買い物に行くが、 unnecessaryなものまで買うため、【誰】が返品しに行く。
	全介助	(5-5)すべて【誰】が行う。
		(5-5)自分で、嗜好品を買うことはあるが、食材や日用品は【誰】がすべて購入している。
		(5-5)食材、日用品はすべて病院で一括購入

5-6 簡単な調理 【介助方法】	介助されていない	(5-6)【炊飯・温め・即席めんの調理】は、週/月【頻度】回、【誰】が行う。【炊飯・温め・即席めんの調理】は、週/月【頻度】回、自身で行う。頻度より「介助されていない」を選択。
		(5-6)【点滴・経管栄養】のみ。温めは発生しない。
		(5-6)調理は全て自分で行う。
		(5-6)総菜を買ってきており、温め直しは全て本人が行っている。炊飯・即席めんの調理は発生しない。
	見守り等	(5-6)【炊飯・温め・即席めんの調理】は、週/月【頻度】回、本人が【何を】し、【誰】が【(どのような)確認・指示・声かけ】を行う。【炊飯・温め・即席めんの調理】は、週/月【頻度】回、【誰】が行う。頻度より「見守り等」を選択。
		(5-6)炊飯は、週/月【頻度】回、家族が行い冷凍する。電子レンジの使い方を忘れ、家族が指示すれば自分で毎日温める。頻度より「見守り等」を選択。
	一部介助	(5-6)【炊飯・温め・即席めんの調理】は、週/月【頻度】回、本人が【何を】し、【誰】が【どのような介助】を行う。【炊飯・温め・即席めんの調理】は、週/月【頻度】回、【誰】が行う。頻度より「一部介助」を選択。
		(5-6)週/月【頻度】回、炊飯の米研ぎは本人が行うが、水加減がわからないためそのあとは家族が行っている。温め、即席めんの調理は発生しない。
	全介助	(5-6)すべて【誰】が行う。
		(5-6)3食すべて【病院・施設】で提供されている。
		(5-6)電子レンジの使い方がわからず、弁当を温めずに冷たいまま食べている。本来であれば温める介助が必要と判断し、適切な介助で「全介助」を選択。
6 特別な医療 【有無】	ある	(6-〇)医師の指示に基づき看護師が【管理・処置・実施】しており、継続予定あり。